



一金会 会長
佐伯 心高

【九州局】半導体関連の投資効果が拡大 自動車との相乗効果にも期待

■トヨタ自動車九州

43万台

福岡県に9 GWhの蓄電池
新工場等建設発表

■日産自動車九州

■日産車体九州

53万台

5 GWhの蓄電池
新工場等建設発表

■ダイハツ九州

46万台

■凡例

- : トヨタ自動車九州
- : 日産自動車九州
- : 日産車体九州
- : ダイハツ九州
- : ロジック半導体
- : パワー半導体
- : イメージセンサー
- : アナログ半導体



（オンラインによる講演）

約1,000社が半導体関連サプライチェーンを構築

出典）九州経済産業局作成

Japan Advanced Semiconductor Manufacturing (株)

第1工場（N12/16,N22/28）
第2工場（N6,12,40）ロジック半導体

ルネサスエレクトロニクス(株)

供給確保計画認定済
車載用マイコン

ローム(株)

ラピセミコンダクタ(株)
供給確保計画認定済
SiCパワー半導体



◆ 開会挨拶 一金会 会長 佐伯 心高

◆ 講演：『九州の特色を活かした地域企業の更なる成長に向けて』

講師：経済産業省 九州経済産業局長 星野 光明（ほしの みつあき）

（講演概要）：今回の講演では、世界経済の不確実性の高まりや「選挙の年」だった昨年の話題、国際情勢、「経済安全保障」の重要性をはじめ、DXやGXの進展による電力需要の増加を見込む中での次期「エネルギー基本計画」の原案や、政府の「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」の概要、特に昨年を「中堅企業元年」と位置付けた地域の中堅企業の成長支援や、中小企業の持続的質上げ実現・成長力の強化に向けた生産性向上支援・省力化支援・Go-Tech事業等のイノベーション創出支援について、解説していただきました。

また、九州地域が有する半導体・自動車・宇宙・環境リサイクル・再生可能エネルギーなどの様々な分野での産業のポテンシャルと、それらに関する九州経済産業局が取り組んでいる事業の概要をはじめ、昨今のJ-Stratup KYUSHUなどのスタートアップ育成支援、産総研九州センターの産学官連携の取り組み、最後には2025年「大阪・関西万博」の見どころのご案内など、様々な事項について詳細にご紹介いただきました。

◆ ショートプレゼン：九州経済産業局からのご案内

- ①『サイバーセキュリティ・カレッジin熊本2025』 情報政策課 デジタル経済室 三小田室長
- ②『ジゼダイシェアミーティング』 経営支援課 渡邊係長
- ③『九州オープンファクトリーフォーラム』 地域経済課 栢田総括係長

日 時

令和7年 2月7日（金） 16：00～17：30

開催方法

Webex活用

【入会の問合せ先】：産学官交流研究会 博多セミナー事務局（産業技術総合研究所 九州センター内）

TEL：050-3522-7234

E-mail：hakata-s-ml@aist.go.jp

※入会者には、毎月メールで開催案内をお送りします。

入会
無料

参加
自由

（注）販売及び勧誘目的（当交流会後の販売及び勧誘目的の個別連絡を含む）での参加はご遠慮願います。

主催：経済産業省 九州経済産業局、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 九州センター、独立行政法人 中小企業基盤整備機構 九州本部、一般財団法人 九州オープンイノベーションセンター、一般社団法人 九州ニュービジネス協議会